

介護ロボ 大活躍

〈和歌山〉老健
ライフケア有田

施設長 池本英司
支援相談員 向山 伸

一緒に歌ったりクイズをしたり 職員を手助けする介護ロボ

ライフケア有田は、デジタルサイネージが専門のプ
イシング社と共同で、デ
ケアのレクリエーション時
に職員を補助するIoT
介護ロボ（ケアアシストサ
イネージ）を開発、201
7年11月から現場で活用し
ています。



アプリでクイズを楽しむ利用者さん



認知力を鍛えるクイズに正解!

「珍しい自動販売機が見かけたこと
と友人に話すと、彼の知人が勤
めるプイシング社の開発だと聞



池本施設長

き、紹介してもらい視
察。そこで女の子のキ
ャクターが多言語で
話す、インバウンド対
応インフォメーション
サイネージを見ました。
「これは人手不足に悩
む福祉現場で、介護職
の代わりとして使える」と
ひらめき、共同開発に至っ
たのです。

雑務を 肩代わりしてくれる

介護ロボの液晶画面は46
インチのタッチパネル式で、
スマホのように指で触れて
操作します。画面には、親
しみやすい女の子のキャラ
クターが映り、利用者さん
と一緒にレクリエーション
を進めてくれます。食事・
入浴・排泄の三大介助以外
に雑務も多い介護職にとっ
ても、役割の一部を肩代わり
してもらえるのはとても助
かります。

たとえばクイズをする場
合、従前は介護職がホワイ
トボードに書いたり、模造
紙を貼ったりと準備も進行
も大変でした。介護ロボな



物忘れチェックも手軽に行なえる

女の子のキャラクターと一緒に歌える



全国糖尿病週間では「備えあれば憂いなし」を上演

寸劇で 糖尿病を啓発

〈愛媛〉松山病院
総務課
木本薫子

ら一度記憶した情報は、いつ
も何度でも画面に即、表示でき
ます。
このキャラクターは話すこと
もできるので、利用者さんと一
緒に、口腔機能を鍛えるパタカ
ラ体操や早口言葉を実演し、場
を盛り上げる役割も任せていま
す。コロナ禍でカラオケに行け
ない今は、利用者さんがキャラ
クターと「幸せなら手をたたこ
う」などを楽しくデュエットし
ています。

認知症と ロコモの予防も

介護ロボの活躍の場はそのほ
かにもあります。一つ目は認知
症予防。当デイケアは、軽度認
知障害（MCI）の段階で進行
を止めるのが目標です。介護職
は認知症の知識を深めて関わり、
介護ロボにプログラミングした
近時記憶トレーニングのクイズ
や物忘れチェックを実施。利
用者さんの記憶回路を活性化し、

認知機能の改善につなげていま
す。

二つ目はロコモティブシンド
ロームの予防です。まずサイネ
ージにロコモの危険因子を表示
し、ロコモ度をチェック。その
うえで予防のための片足立ち・
スクワットなどロコモ体操のメ
ニューを実践しています。

ロコモチェックも従前は模造
紙を都度貼って確認していたの
で、画面にいつでも表示できる
のは便利です。当初はスタッフ

が行なっていた介護ロボの操作
も、いまでは利用者さん自らタ
ッチパネルに触れ、クイズに回
答したり、好きに選曲して歌っ
たりして、職員に業務負担
がずいぶん軽減されました。
将来的には利用者さんの顔を
識別し、その人の趣味・嗜好に
合った会話や、最適なリハビリ
テーションを介護ロボで行なう
のが目標。そのためにもデー
プリンング（深層学習）を重
ねて改良を進めます。

糖尿病も災害への備えも なでしこ一座が楽しく伝授

松山病院に
は糖尿病ケア
チームが結成
した小さな劇団

「なでしこ一座」が

あります。当院の糖尿病
教育のモットー「患者さんに元
気と勇気をあたえる糖尿病教
育」を実践する活動で、楽しく
分かりやすく患者さんに学んで
もらおうと、糖尿病教室で寸劇
を織り交ぜて講義したのがきつ

かけです。

初公演は2016年11月17日。
全国糖尿病週間の院内行事で

の記念行事や全国糖尿病週間の
中でテーマを決めて演じ、患者
さんや松山市民に、糖尿病につ
いて幅広く啓発して
います。

失敗はご愛敬!?

一座のメンバーは、
宮岡弘明院長をはじめ、
糖尿病専門医・
看護師・理学療法士・
薬剤師・事務員など